

手術・麻酔および合併症に関する同意書

当院における以下の手術および麻酔処置について、その必要性、方法、予想されるリスクと合併症、および術後管理の重要性について説明を受け、十分に理解しましたので、ここに同意いたします。

1. 予定される手術名

- * 膝蓋骨脱臼整復術(パテラ)
- * 前十字靭帯整復術(関節外固定法・人工靭帯設置 等)
- * 脛骨粗面転移術(TTT)および関連する骨切り・固定術

2. 手術の目的

膝蓋骨(お皿)の脱臼および前十字靭帯の損傷により生じている膝関節の不安定性を取り除き、痛みや歩行障害を改善することを目的とします。

3. 予期されるリスク・合併症

医療行為には最善を尽くしますが、動物の個体差や予期せぬ生体反応により、以下のリスクや合併症が生じる可能性があることを理解します。

A. 体内に残る「糸」およびインプラントに関するリスク

* 縫合糸反応性肉芽腫(体内の糸への異物反応):

* 血管の結紮や、前十字靭帯を補強するために入れる**太い特殊な糸(人工靭帯・ナイロン糸など)**に対し、体が「異物」として過剰な拒絶反応を起こすことがあります。

* これにより、術後数ヶ月～数年経ってから皮膚が腫れたり、穴が開いて膿が出続けたりすることがあります。抗生剤で治まらない場合、原因となっている糸を取り除く再手術が必要になることがあります。

* 人工靭帯の破損・緩み:

* 骨が癒合して関節が安定するまでの間、膝を支えているのは人工の糸です。術後の安静が保てない場合、この糸が切れたり緩んだりして、再手術が必要になることがあります。

* インプラント(ピン・ワイヤー)のトラブル:

* 骨を固定している金属ピンが、皮膚を刺激して飛び出したり、稀に破損・移動(マイグレーション)したりすることがあります。その場合は抜去処置が必要となります。

B. 術後の感染・管理不全に関するリスク(重要)

* 舐めることによる感染(骨髄炎のリスク):

* 動物の口の中には無数の細菌が存在します。術後に患部を舐めてしまうと、傷口から口腔内細菌が深部に侵入します。

* 特に本手術では骨や人工物(糸・ピン)を扱っているため、菌が付着すると骨髄炎などの重篤な感染症を引き起こし、インプラントの全抜去や洗浄手術が必要になることがあります。

C. その他のリスク(手技・解剖学的構造・麻酔)

* 脛骨粗面の剥離骨折: 脛骨の一部(粗面)を切って移動させるため、稀にその骨片に亀裂が入ったり、割れたりすることがあります。

* 半月板の晩期損傷: 手術時点で異常がなくても、術後の生活で新たに半月板が損傷し、再手術が必要になるケースがあります(5~15%程度)。

* 漿液腫・神経損傷: 術後、手術部位に水がたまったり、稀に神経の一時的な麻痺が生じることがあります。

* 全身麻酔のリスク: 特異体質や突発的なショック等により、重篤な状態に陥る可能性があります。

4. 術後の管理と飼い主様へのお願い(遵守事項)

手術が成功しても、以下のご自宅でのケアが不十分だと機能回復しません。必ず守ってください。

* ご自宅でのリハビリテーションの実施(必須)

* 術後、患肢を使わない期間が長くなると、**急速に筋肉が萎縮(筋肉がやせ細って弱くなること)**します。

* 筋肉が萎縮してしまうと、手術で関節を治しても、足をついて歩けるようになるまでに大幅に時間がかかります。

* 獣医師の指導に基づき、ご自宅での屈伸運動やマッサージ、ゆっくりとした歩行訓練などのリハビリを必ず毎日行ってください。

* エリザベスカラーの常時着用(絶対厳守)

* 傷口および深部の人工物を感染から守るため、抜糸後、獣医師の許可が出るまで24時間絶対に外さないでください。

* 「見ている間だけなら」と外した一瞬の隙に舐めてしまい、感染を起こすケースが多発しています。

* ご自宅での毎日の消毒

* 感染予防のため、退院後はご自宅にて毎日、傷口の消毒を行ってください。

* 消毒液や軟膏は当院で処方したものを使用し、指示された回数・方法で行ってください。

* 運動制限(安静)の徹底

* 骨の癒合と人工靭帯の保護のため、激しい運動・ジャンプ・階段・滑る床での生活は厳禁です。リハビリ以外の無茶な運動は避けてください。

緊急時の対応について:

手術中または入院中に予期せぬ事態が発生し、緊急の処置が必要と判断された場合、獣医師の判断に基づき、救命処置や術式の変更を行うことに同意します。

説明担当獣医師: 貞廣 優子

上記の説明、特に**「体内の糸への反応リスク」「術後の感染予防(カラー・消毒)」「リハビリによる筋肉維持」**の重要性について十分に理解した上で、手術および麻酔を依頼します。

署名日: 20 年 月 日

署名(飼い主様): _____ 印

緊急連絡先: _____